



～ ごあいさつ ～

北部サークル連絡協議会
 会長 佐藤 和夫

去る、1月22日に「キタスカ登録サークル代表者会議」の場で、皆様にご挨拶と「北部サークル連絡協議会(以下北部サ連協という)」の今年度の活動や現状報告を致したところであります。

「北部サ連協」は、昭和55年に土崎公民館でスタート致しまして45年となりました。

多くの先輩の方々の努力によって受け継がれ、今日を迎えられたことは敬意と感謝に堪えません。

私は、平成27年4月にキタスカで健康麻雀同好会を8名で立ち上げ、麻雀を通して明るく元気で楽しく交流を深め、会員相互の親睦を図るとともに、高齢者の「閉じこもり」「認知症対策」等の予防や生活環境の改善を図ることを目的に活動し、お陰様で10年経過し会員30名のサークルとなり成長させて頂きました。

「北部サ連協」会長の大任を仰せつかり、なんとか3年を迎えようとしている訳でございます。この「北部サ連協」は、皆様ご承知の通り安全安心なサークル活動を通じて、会員相互の学習・スポーツ・文化・芸能を一段と高め向上すること、相手を思いやる寛容な言動、心身共に健康増進を図る目的でもあります。

また、北部市民サービスセンター「キタスカ」は、秋田市の支所機能と災害時の北部地域防災拠点でもあります。

この「キタスカ」では今年も様々なイベント・行事がございますので、一部ご紹介させていただきます。

- 6月・9月(春・秋)キタスカ周辺の清掃
 - 8月30日キタスカ開館15周年記念講演会・祝賀会
 - 6月～8月 レクのつどい
 - 10月4日～5日 第13回キタスカまつり
 - 11月12日 視察研修会
- 今年は「キタスカ」が開館15周年を迎えます。

皆様方のご支援とご協力の賜物でありますので感謝の意を述べさせて頂き、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

令和6年度施設利用状況(令和6年4月1日～令和7年2月28日)

利用者総数: 90,309名

＜内訳＞

地域文化ホール: 15,960名 部 屋 利 用: 32,417名
 展 示 ホール: 13,929名 体育館利用: 28,003名

1日平均 264名の
 皆様にご利用
 いただきました！



ＪＡ秋田厚生連 秋田厚生医療センター共催事業

第３回 キタスカ地域住民講座

元気に過ごすためのヒント！

「健康・長生きのためのヒントについて」

日時：令和７年２月１５日（土）１３時半～１５時



ＪＡ秋田厚生連 秋田厚生医療センターとの共催事業「第３回 キタスカ地域住民講座」では、講師に院長の柴田 聡先生、消化器外科診療部長の宇佐美 修悦先生をお招きし、「健康・長生きのためのヒントについて」をテーマに行われました。

柴田院長からは、救急搬送と救急受診者の数がとても多いというお話の中で、「熱はあるけど、体調は悪くない」等の症状は、救急で受診しなくても大丈夫ですが、日に日に症状が悪化するようなら我慢せず受診してくださいとのことでした。

そして、膵臓がんのお話では、「なまはげプロジェクト」と題して、早期発見のための独自のチェックリストを秋田市、男鹿・潟上南秋地域の医師に配布し、医師と超音波技師に適切な診断の検討をしていただけるということでした。

また、秋田厚生医療センターが「がんサバイバー登山」を計画し、がん経験者、医療関係者とサポーターが駒ヶ岳登山をしているそうです。山では豚汁を食べたり、ミニライブを行うそうです。

宇佐美先生からは、腹腔鏡手術でいろんな器具をどう使うか等、動画で分かりやすく説明していただきました。利点や欠点、開腹手術との違いや手術用ロボット（ダヴィンチ）の手術方法など具体的なお話を聞くことができました。

また、1938年にはヒトラーにより、日本に初めて腹腔鏡機器が贈られたそうです。

講演会にご参加いただき、また、会場でのアンケートにご協力頂きありがとうございました。皆様からいただいた貴重なご意見は、よりよい講演会にするための参考とさせていただきます。

キタスカ講演会

「いつまでも輝きを失わないために」

講師：菊田 あや子 氏

（日本フードアナリスト協会準講師山口ふるさと大使、
水産大学校（非常勤講師））

日時：令和７年３月１５日（土）１３時半～１５時



ワイドショーのリポーターやラジオ等で活躍されている、菊田あや子さんによる講演会がキタスカで開催されました。

今回の講演は、「いつまでも輝きを失わないために」と題して行われ、ご本人の母親の介護の話や終活の話、認知症にならないための食生活や運動の話など多岐にわたるものとなりました。

その中でも、【定命】（じょうみょう）という言葉のお話は非常に印象深いものでした。お客様からも、「【定命】いい言葉です。定められた命、精一杯生きていきたいです。」というお言葉をいただいております。

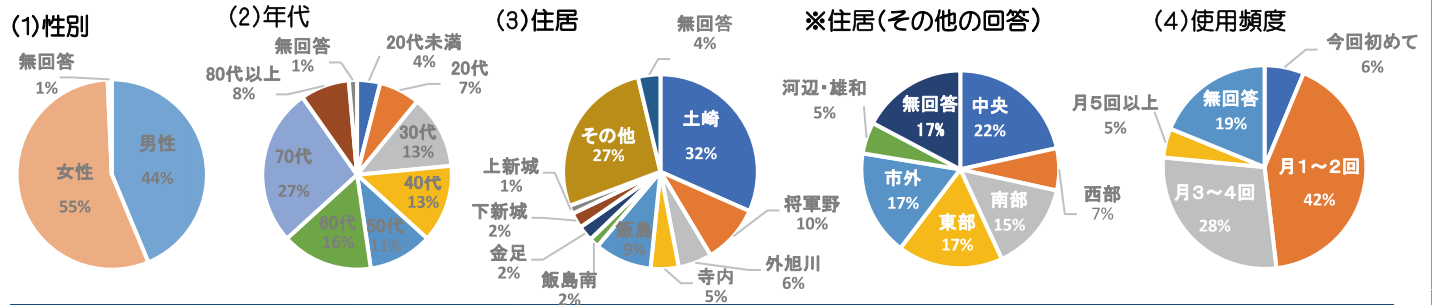
ユーモアを交えながらも勉強になることが非常に多いお話ばかりで、これからの人生、自分らしく前向きにすごしていきたい！と思えるような講演会となったのではないかと思います。

菊田あや子さん、そして会場にお越しくださった皆様、ありがとうございました。

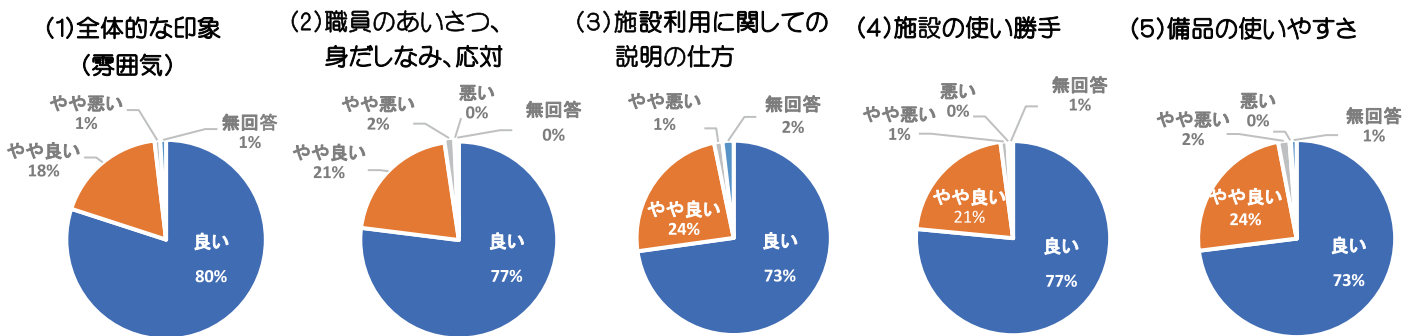
利用者アンケートの結果

令和7年2月実施 協力者 430名

問1.ご自身について



問2.キタスカの利用について



問3.北部地域住民自治協議会の自主事業について

(1)協議会の活動についてお聞かせください。

①キタスカ公演会『元気に過ごすためのヒント!』(令和6年2月17日(土)開催)

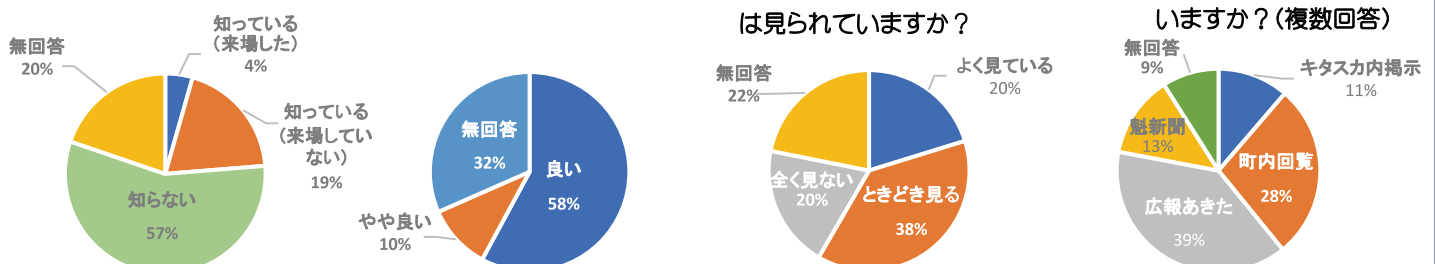
②キタスカ公演会『出会いに生かされて』(令和6年3月9日(土)開催)

8(A) 上記に記載しました事業はご存じでしたか?

(B) 来場した方は、その内容はいかがでしたか?

(2)自主事業のPR(町内会の回覧、広報あきた、魁新聞等)は見られていますか?

(2)-A 見ている方は主に何をご覧になっていきますか?(複数回答)



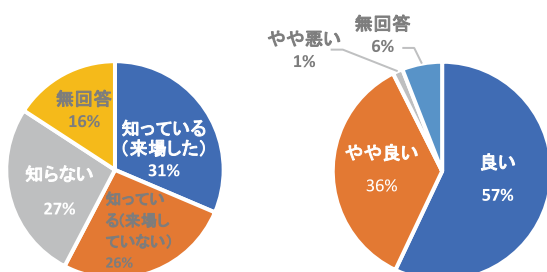
問4.キタスカまつりにについて

(1)キタスカまつりの実施をご存じでしたか?

(A) 来場した方は、その内容はいかがでしたか?

(B) 良い・やや良いと答えた方は、良かったと思うイベントをお聞かせください。

(C) 今後どのようなイベントをお望みかお聞かせください。



○作品展示	11%	○健康相談	2%
○北部地域特産物直売	9%	○出前歌声喫茶	3%
○喫茶コーナー	9%	○キタスカコンサート	5%
○販売コーナー	7%	○軽食コーナー	5%
○フリーマーケット	10%	○こども縁日	3%
○キッチンカー	5%	○フレイル予防運動	1%
○ダンスパーティー	6%	○はじめてのスマートフォン教室	1%
○芸能発表会	15%	○無回答	9%

(C) 今後どのようなイベントをお望みかお聞かせください。

- ・ZUMBAをお願いします
- ・有名人の講演会
- ・子どもがいるので、子どもが来たくなるようなイベント
- ・吹奏楽の演奏(管内、学校、各種団体の協力を得て)等

～その他のご意見・ご要望～

- ・CD ラジカセ コネクター不具合あり
- ・椅子を増やしてほしい
- ・施設が新しく、非常に有り難いです
- ・ケーブルの接触が悪い
- ・音楽室の椅子が多少傷んできています

- ・受付をスムーズにしてほしい
- ・テーブルが重く、女性では出せない
- ・ふきんや台拭きがほしい
- ・いつも利用させて頂き感謝です

貴重なご意見とご協力、ありがとうございました。
今後の運営の参考にさせていただきます。
今後ともどうぞキタスカをよろしく願いいたします。

～北部地区～

ぐるっとまち歩き



第10回 飯島南

～伸びゆくまち～

飯島南地区町内会連合会
副会長 古内 一樹

飯島南地区は秋田市の北部に位置し、14町内約2,700世帯が暮らす街である。この地区一帯は、平安時代までは高瀬舟が行き交う川であったが、天長の大地震(830年)により地域は一変し、泥炭の大湿地帯となった。

以後1000年以上に及ぶ開拓の歴史が始まる。1938年(昭和13年)

土地改良事業完成記念碑(昭和43年9月12日)

大滝沢ため池の完成により用水の心配がなくなり、全農民の念願であった排水の完備と区画整理が行われた。1944年(昭和19年)頃からは、県の土地改良事業が進められ、大規模な排水路が完成して天長の大地震以来、1100年を経て、湿原との苦闘は終焉する。

地区最古の飯田町内(旧飯田村)は、1641年(正保4年)藤田喜兵衛氏が初代肝煎りとなって、戸数19戸、人口151人、馬18頭で発足した。南北540mの集落中央に水路を作り、その両側に屋敷と2本の道を配置し、外側には共同苗代、外回りに谷地堰という理想的な集落開発が行われた。現在でもその原型は保たれている。飯田町内の東西を貫く飯田街道を西に進むと、飯島長野町内へと続く。飯島長野町内の開拓は明治末期が始まりで、1902年(明治35年)頃この一帯は松林と砂丘で、人ひとりがやっと通れる道がある程度だったという。飯田街道を通り飯島長野の交差点を過ぎると、馬頭観音と地藏堂が鎮座する。当時、馬や牛は農業や運搬に重要な役割を果たし、人々にとって大切な守護神であり、動物の供養や病気の治療を願うために祀られていた。また、秋田工業高等専門学校が飯島長野町内に隣接立地している。

1962年(昭和37年)頃、飯田と四ツ屋集落は田んぼに囲まれていた。それから13年後の1975年(昭和50年)、飯田街道北側にポプラ団地(現西袋町内)に住宅が建ち始め、その後相次いで飯島サンパーク、青山町、西袋東、豊四季苑等の住宅開発が進められた。

飯島サンパーク町内の中央を貫通するバス通り(サンパーク中央通り)を南下すると、西側に堰越町内、東側に四ツ谷団地が見えてくる。右折してさらに南下して行くと、西側は青山町、青山町は横山金足線を挟んで両側に広がるが、町内西側に陸上自衛隊秋田駐屯地が隣接する。さらに、横山金足線を南下して行くと、東側にみのり町、四ツ屋、四ツ屋東、大袋の各町内が位置する。飯島サンパーク町内と堰越町内の間に飯島南町内がある。



南方より街全体を望む

この地区には、1986年(昭和61年)4月開校の飯島南小学校と、1991年(平成3年)開校の飯島中学校が立地する。また、2000年(平成12年)には、秋田厚生医療センターが土崎から現地に移転し、秋田市北部のヘリポートを備えた中核病院として重要な役割を果たしている。さらに、2018年(平成30年)6月には、飯島南地区住民の念願であった飯島南コミュニティセンターが開所し、現在、地域住民の憩いの場や交流の場となっている。